

ジブチ月例報告 (2025年7月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

- 7月7日、アブドゥルカデル首相は、2025年～2030年を対象期間とする第3次国家開発計画（PND）の策定プロセスの開始式典を開催した。
- 7月8日以降、アブドゥルカデル首相は、干ばつの急速な進行を踏まえ、国防省、内務省、農業・水・漁業・畜産・水産資源省等の関係者を招集し、干ばつへの国家対応計画のフォローアップ会合を複数回にわたり主催した。
- 7月10日、オマール労働大臣（制度・社会保障担当）は、公務員制度関係法規改正の最終段階の開始を宣言した。同改革は2020年に開始され、現代的、公正及び効率的な公務員制度の構築を目的としたもの。
- 7月12日、マリアム・デジタル経済・イノベーション担当大臣は、国内外の有識者を動員し、ジブチの重要アジェンダであるデジタル化を推進する旨発表した。

【外政】

- 7月9日～14日、ディレイタ国民議会議長は、第50回仏語圏議国会会合（A P F）参加のために仏を訪問し、仏上下両院議長と会談したほか、各国議長と共に仏大統領府を訪問した。
- 7月12日、オマール外務・国際協力大臣は、マラボで開催されたアフリカ連合執行理事会第47回通常会合に出席した。今年のテーマは「アフリカ人及びアフリカ系の人々のための正義としての賠償」である。
- 7月18日、ゲレ大統領は、ルビオ米國務長官との間で電話会談を行い、二国間関係と地域の安全保障について議論した。
- 7月22日、ゲレ大統領は、マクロン仏大統領との間で首脳電話会談を行い、ジブチ第二空港建設構想等について議論した。
- 7月25日、外務・国際協力省は、仏によるパレスチナ国家承認決定に対する歓迎声明を発表した。
- 7月26日、ハッサン・ソマリア大統領はジブチを公式訪問し、ゲレ大統領と会談を行った。同大統領によるジブチ訪問は2025年4月以来2回目。
- 7月28日、オマール外務・国際協力大臣は、ニューヨークで開催された二国国家解決のためのハイレベル国際会議に出席し、東エルサレムを首都とするパレスチナ国家の樹立に対するジブチ及びゲレ大統領の不変の支持を再確認した。

● 7月28日、モハメド（M. Mohamed Doualeh Walieh）大使はドーハで開催されたイスラム協力機構（OCI）のソマリアに関する連絡グループ会合において、ソマリアの安定と制度再建への揺るぎない決意を改めて表明した。

【経済・開発】

● 7月1日、IMFは、ジブチの経済について、堅調な成長とマクロ経済の安定、特に港湾活動の活況に牽引され、2024年も6.5%以上の成長率を維持したと発表した。

● 7月2日、イリヤス経済・財政大臣（産業担当）はジブチ代表団を率いて国連とスペイン政府主催の開発資金国際会議に参加し、2030年までにSDGsを達成できるよう、年間4,000億ドルとも言われる資金ギャップに直面している後発開発途上国との連帯を呼びかけた。

● 7月19日、ジブチ海運会社（DSC）は、東アフリカ及びそれ以遠の海運接続性を向上させる拡張計画の一環として、2隻の新造コンテナ船を導入する計画を発表した。

● 7月21日、米沿岸警備隊は、2019年以来ジブチに課してきたジブチ船舶の米への入港条件を撤廃したと発表した。

【保健・衛生・社会】

● 7月14日、当地メディアADI（Agence Djiboutienne d' Information）と露通信社スプートニクは二国間協力をメディア分野でも強化するため、モスクワにおいてパートナーシップ協定に署名した。

● 7月17日、ゲレ大統領は、2025年バカロレア卒業証書授与式において、学生の優秀な結果を称え、激励した。

● 7月20日、国民教育・職業訓練省幹部のファティア氏が太田JICA専門家と協力してジブチで実施中のそろばん教室について、La Nation 紙上で紹介された。

【軍事・治安】

● 7月1日、ジブチ国民議会は新仏ジブチ防衛協力協定批准に関する法案を承認した。なお、6月27日、仏側でも同協定について国民議会、上院の審議を経て、マクロン大統領が承認した旨の官報が発出された。

● 7月6日、コモロ連合独立50周年を祝う軍事式典に中国人民解放軍ジブチ保障基地駐留部隊が参加した。

● 7月7日、前日の紅海でのホーシー派による攻撃で沈没したとされる貨物船「Magic Seas」（リベリア船籍）の乗組員22名は全員救助され、ジブチに到着

した。7月7日に同じく攻撃を受けたばら積み貨物船「Eternity C」（リベリア船籍）は沈没し、死亡者が発生し、一部乗組員が誘拐された。

●7月14日、駐ジブチ仏軍は仏革命記念日祝賀軍事式典を開催し、ジブチ側ではハッサン国防大臣、ザッカリア統合参謀総長等が参加した。

●7月22日、アリサビエ州知事一行はカバ・カバ地域を視察し、軍担当官と地域住民代表との間で国境安全に関する議論を行った。

●7月23日、中国人民解放軍創設98周年を祝う式典が開催され、ハッサン・サイド治安庁長官、ハディ・ジブチ港湾・フリーゾーン庁長官等が参加した。

●7月30日、税関は、タジュラ地方北東部バルホ（Balho）において密輸業者を検挙し、記録的な量の麻薬と違法製品を押収した。

【日本関係】

●7月3日、当地訪問中の吉田統合幕僚長は、オマール外務・国際協力大臣を表敬訪問し、ジブチにおける自衛隊の活動に対する理解と協力に関して謝意を表明するとともに、日ジブチ間の防衛協力をより一層進展させるため、部隊間交流や災害対処能力強化支援等の分野について意見交換を行った。

●7月4日～11日、在ジブチ日本国大使館では、第27回参議院議員選挙に伴う在外公館投票を実施した。

●7月7日、原大使は、デサムーアUNHCRジブチ事務所新代表の訪問を受け、国際難民の日、UNHCRの将来像、日本とUNHCRとのパートナーシップ等について意見交換を行った。

●7月9日、原大使は、日本赤十字社、ジブチ赤新月社、IFRCの訪問を受け、気候変動に直面する地域社会の回復力強化を目的とした三者協力プロジェクト実施を決定した旨、報告を受けた。

●7月12日、原大使は、アニメ、漫画ファンの若者で構成される当地の日本文化愛好家団体Jap' Animeの第5回年次イベントに参加した。

●7月15日、原大使は、赤十字国際委員会（ICRC）が自衛隊のジブチ拠点を対象に国際人道法セミナーを開催するためジブチ出張中の、駐ケニアICRC地域代表部のマリコ・イフコフ保護調整官と意見交換を行った。

●7月27日、原大使は、自衛隊拠点の司令交代記念レセプションを開催し、各国駐留軍関係者等が参加した。

●7月28日、原大使は、第3回東京国際法セミナーに参加するムナ判事及び昨年度参加者であるアヤンヌ外務・国際協力省国際法局長との間で意見交換を行った。

（了）